

# モンゴル国ゴビ地域における牧民と協働した砂漠化防止活動

活動地域  モンゴル

ひろげる助成

3年目

実践

デルス保護管理区の設置数 **11** か所

飼料備蓄コンテナの設置数 **4** 個

今年度計画の達成度 **100** %

目標達成度 **100** %

## 苦労した点と工夫した点

### ■ 苦労した点

新型コロナウイルス禍で日本人がモンゴルに渡航できなかった。

### ■ 工夫した点

モンゴル人スタッフの体制を充実させ、オンラインでの打ち合わせを行うことで、アウトプットを達成した。



濃厚飼料備蓄用コンテナ

## 課題

モンゴル国南部のゴビ地域では降水量が少なく、大きく変動する。そのような環境下で安定してある植物「デルス」が家畜に過剰に食べられ、局所的な砂漠化が進んでいる。

## 目標

モンゴル国・ゴビ地域において、デルスが回復し、砂漠化が防止される。

## 活動内容と成果

牧民がデルスを災害時以外は利用しないように管理するために、デルス保護・管理区を11か所、11ha設置し、牧民が管理・利用した。デルスの過剰な利用を防ぐために濃厚飼料を備蓄するためのコンテナ四つを設置した。これらの活動から牧民自らが、デルスを回復させ、デルスの過剰な利用を防ぐための飼料備蓄体制を運営するような体制を構築できた。



デルス保護・管理区と牧民

## 全助成期間の活動を振り返って

2004年から活動をしてきた地域であったため、新型コロナウイルス禍で日本人が渡航できなくても、モンゴル人スタッフのみでも活動を行うことができた。



備蓄した乾草

〒111-0051  
東京都台東区蔵前3-17-3 蔵前インテリジェントビル8階  
電話：03-5825-9735  
E-mail：contact@gef.or.jp  
HP：https://www.gef.or.jp/



今後の展望

長く活動してきた地域であれば、日本人がモンゴルに渡航しなくてもオンラインでの打ち合わせで活動を行うことはできる。しかし、今後、つながりのない地域で問題解決への協力をするための、人間関係の構築やその地域への日本人の理解向上のために、渡航できる機会を逃さずに、モンゴルに渡航することで、継続的にモンゴルにおける問題解決に貢献したいと考えている。